

日本学術会議地球惑星科学委員会 IUGG 分科会 IAPSO 小委員会（第 24 期・第 2 回）  
議事要旨

- 開催日時：2019 年 9 月 27 日（金）12:15-12:45
- 開催場所：富山国際会議場 3F 控え室 2-3（海洋学会秋季大会会場内）
- 出席者：山形俊男、蒲生俊敬、花輪公雄、秋友和典、日比谷紀之、大島慶一郎、  
原田尚美、広瀬直毅、見延庄士郎、安田一郎、升本順夫（計 11 名）
- 議題等

1. 報告事項

最近の IAPSO の活動に関する以下の報告を受け、情報の共有と関連事項の議論を行った。

1. 1 IUGG 報告

日比谷委員より、2019 年 7 月 8 日～18 日にモンテリオールにて開催された第 27 回 IUGG 総会の報告があった。11 件の IAPSO セッション、IAPSO が主体となった 5 件のジョイントセッションを中心として IAPSO が関連する多くのセッションが生まれ、活発な議論と情報交換が行われた。合計約 4000 名の IUGG 参加者のうち、約 360 名が IAPSO 登録者であった。IAPSO のビジネス会合は 7 月 11 日に開催され、次期執行部が決まった（1.2 項参照）。翌 7 月 12 日には恒例の授賞式典が開かれ、プリンスアルバート I 世メダルは化学海洋学者の Corinne Le Quere 氏（英国）に、若手への ECS メダルは、物理海洋分野で Gerard McCarthy 氏（アイルランド）、化学海洋分野で Mar Benavides 氏（フランス）に授与された。また、最終日には、発展途上国の研究者を対象とした Eugene Lafond Medal が Rohith Balakrishnan（インド）に授与された。

次回の IAPSO は、IAMAS および IACS との合同で 2021 年 7 月 18 日～23 日に韓国の釜山にて、次回の IUGG は 2023 年夏季にドイツのベルリンにて開催される予定である。

1. 2 次期 IAPSO EC について（報告）

日比谷委員より、IAPSO 執行部（Executive Committee）の次期体制について、報告があった。議長は Trevor McDougall 氏（オーストラリア）、事務局長は Stefania Sparnocchia 氏（イタリア）であり、前議長の Denise Smythe-Wright 氏（英国）、副議長の Agatha de Boer 氏（スウェーデン）と Hans van Haren 氏（オランダ）と共に、舵取りが任せられ

ることになった。この他、合計 5 名の執行委員が入れ替わり、日本からは、これまで 2 期 8 年間にわたって務めてきた日比谷紀之氏に替わり、升本順夫氏が新たに着任した。

また、今後の方向性として、若手研究者への支援強化として 2018 年 1 月から始まった Early Career Scientist Working Group の活性化、IAPSO 関連活動や研究に関する Best Practice 活動への補助など、新たな試みが始まったことが報告された。特に、この Best Practice 活動補助には日本からも提案を出した方が良いのではないかとの意見があり、可能性を検討していくこととなった。

### 1. 3 JpGU での IUGG セッション報告

升本委員より、2019 年 5 月 26 日～30 日に幕張メッセにて開催された JpGU2019 の際に行われた IUGG の 100 周年を記念するセッション「100 周年を迎える IUGG への日本の貢献」に関する報告があった。IAPSO 関連の日本の貢献については、「IAPSO への我が国の貢献」としてまとめ、升本委員が口頭発表で紹介した。

#### ■ 配布資料：

(1) 議事次第

(2) IAPSO への我が国の貢献（要旨および PPT 資料）

の 2 点